

業 務 名

初動警察活動の推進

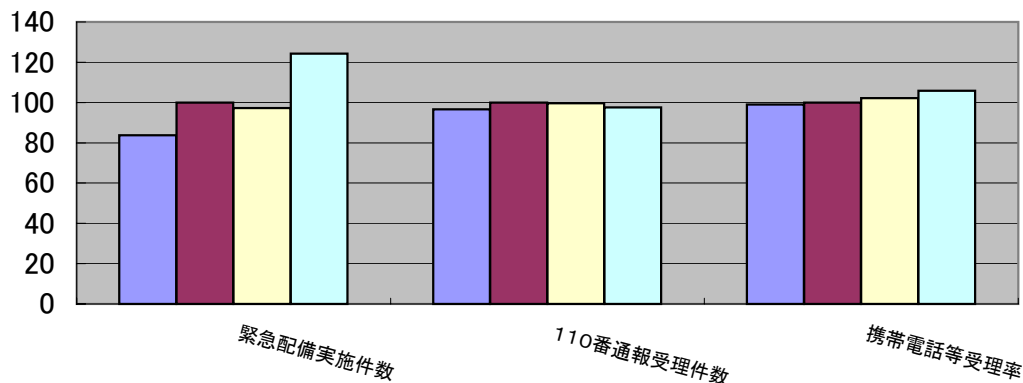
○業務に関係する統計

項 目	統 計 の 推 移				
緊急配備実施件数	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	単位
	62	74	72	92	件
110番通報受理件数	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	単位
	98,223	101,679	101,374	99,276	件
携帯電話等受理率	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	単位
	63.4	64.0	65.4	67.7	%
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位

※「緊急配備」とは、重要な犯罪等の発生に際し、犯人の早期検挙のため多数の警察官を集中動員し、検問等を行う初動活動をいう。

統計の推移

■平成15年 ■平成16年 ■平成17年 ■平成18年



<グラフは、16年を100とする指数で表した。>

○業務の主なコスト

№	事業名	平成18年度事業費(千円)	平成19年度事業費(千円)
1	地域警察費	3,295	107,771
2	総合指令警察運営費	1,736	1,634
3	通信指令室機器維持管理費	179,503	204,288
4	県民のための警察活動迅速化推進費	2,503	1,976
5	警察無線高度化更新事業費	5,325	0
6	ヘリコプター維持管理費	5,513	6,248
7	ヘリコプター運用・維持費	105,618	55,412
8			
合 計		303,493	377,329

○平成18年の取組み

●広域化、スピード化する犯罪情勢と110番通報に迅速・的確に対応した初動警察活動を推進し、県民の安全と安心を確保するため、「110番通信指令マニュアル」を活用した巡回教養を行うなど、通信指令機能の向上を図った。

●110番滞留防止のため、従来からの勤務制を見直し、体制の強化を図った。

●凶悪事件等の発生に際して、通信指令システムを効果的に運用し迅速な緊急配備を発令するなど、的確な初動警察活動を展開して犯人の早期検挙に努めた。

●携帯電話による110番通報者の位置がピンポイントで表示できる携帯電話発信者位置情報システムを導入するための準備を行った。

●広く県民に対し110番通報への理解と正しい利用方法を周知するため、1月10日の「110番の日」などの機会を捉えて、警察本部及び各警察署において、広報啓発活動を実施した。

○課題と平成19年の取組み

●いたづら電話等を解消し、緊急電話としての110番機能を確保するため、各種広報媒体（県市町の広報誌、テレビ、ラジオ等）を活用した県民に広く110番制度の周知と、その正しい利用方法の促進を図る。

●110番制度の周知と正しい利用を促進するための広報啓発活動を、毎年1月10日の「110番の日」を始め、あらゆる機会を捉えて実施していく。

●110番滞留防止対策として、引き続き、体制の強化と指令技能の一層の向上を図る。

●凶悪事件等の発生に際しては、早期に犯人を検挙するため、通信指令システムのより効果的な運用を図るとともに、迅速かつ的確な緊急配備を実施する。

●携帯電話発信者位置情報システム導入の改修整備を早期に行い、平成20年4月の運用開始を目指す。